

宿泊療養施設の確保について

○ 宿泊療養施設については、現在は11施設(2,753室)で運用。(宿泊療養施設確保計画 運用フェーズ3)
 新型コロナウイルス感染者の急増により、運用フェーズ4に移行。待機※としていた4施設を順次解除し、15施設(4,058室)を来月早々に運用予定。

※ 待機施設:安い単価で借り上げ契約を継続し、感染急拡大時に備え、すぐ対応できるよう準備している施設

□ 7月30日時点運用施設と今後の待機解除施設

7月30日時点運用施設数(室数) 11施設(2,753室) 運用中			
7月31日以降待機解除施設			
施設名	所在地	室数	状況
アパホテルなんば駅東	中央区	359室	7/31待機解除
スーパーホテル大阪天然温泉	西区	400室	8/1待機解除
大阪アカデミア(新館1)	住之江区	159室	8/3待機解除
大阪アカデミア(新館2)		153室	
アパホテルなんば南恵美須町駅	浪速区	234室	
合計		4,058室	-

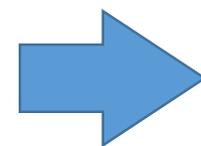
□ 宿泊療養施設確保計画

運用フェーズ	施設室数	次フェーズ移行の判断基準 下記基準と感染拡大状況から総合的に判断
		感染拡大時
フェーズ1	800室	およそ240人以上※ → フェーズ2移行準備
フェーズ2	1,600室	およそ800人以上 → フェーズ3移行準備
フェーズ3	2,400室	およそ1,200人以上 → フェーズ4移行準備
フェーズ4	4,000室	およそ2,000人以上 → フェーズ5移行準備
フェーズ5	6,000室	-

※ 総入所者数(7/29時点1,596人)

○ 今後も、さらなる新型コロナウイルス感染者数の増加傾向の継続が見込まれることから、上記確保計画 運用フェーズ5を見据え、6,000室確保に向けた準備を進めていく。

- 宿泊施設の公募(11事業者25施設応募)
 - ・受付期間 R3.7.8~21
 - ・対象200室以上で1棟貸し可能な府内宿泊施設
- 前回公募(R3.4.6~9)の応募施設からも選定



□ 8月中旬に
6,000室の確保をめざす